

## 石切山脈(稲田石採石場)

日本最大の碎石現場。東西10km・地下1.5km・南北5kmの壮大なスケールです。

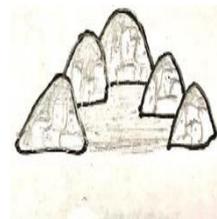
6000年前に海中で冷え固まった花崗岩は、世界でも類を見ない白さから、

『白い貴婦人』とも呼ばれています。美しい光沢と耐久性を兼ね備えているため、日本橋・東京駅・国会議事堂・最高裁判所などをはじめ、全国有数の歴史的建造物に使用され、今も現役で稼働している採石場です。

現在、使われていない碎石場跡「前山採石場」は、湧き水や雨水により古代遺跡かと見紛う景観で

「地図にない湖」とも呼ばれている。その絶景は、旅の雑誌に「人には教えたくない絶景」とも

記載されている場所です。石の数々の彫刻なども、自然の中に立ち並んでいます



## 稲田禅房 西念寺 (稲田御坊)

「親鸞聖人」が、東国の布教の際に約20年間恵信尼公と暮らし、この地で『教行信証』の制作を開始。

浄土真宗立教開宗の聖地と伝えられている。自由に参拝できる寺院。

鎌倉時代に創建された寺院。木立の中、静かな参道の奥に茅葺屋根の趣のある神門。

を潜ると、左手に「お葉付イチョウ」鐘楼と共に、水戸光圀公の杖を作ったと言われる

杉の巨木には根乳がみられる。太子堂・太鼓堂・見返り橋など多くの見どころを有す。

本堂北側に巨石を積み上げた築山のある池泉鑑賞式庭園があり、その巧みな滝石組みや

舟石には目をひかれる。本堂の右手石段の上には親鸞の「御超頂骨堂」が木立の中に佇む。



## 茨城県陶芸美術館

東日本発の陶芸専門県立美術館「伝統工芸と新しい造形美術」をテーマに国内外の優

れた作品を鑑賞できる「企画展」、人間国宝や文化勲章受章者などの名品による「コレクション展」も多い。

県内外で活躍する陶芸作家の作品などを紹介している。誰もが気軽に立ち寄れる美術館。『現代茨城の陶芸展』などが楽しめる「ときめく」「識る」「楽しむ」のキーワードと共に、陶芸のすばらしさを多くの方に理解していただける魅力ある美術館です。

この秋には、皇室貯蔵の「三の丸尚蔵館」所蔵品より、明治～現代までの日本陶磁の名品に加えて、茨城とゆかりの深い作家の作品も紹介される。。

錦光山宗兵衛(6代)「金鶏図花瓶」なども展示予定されている。

